

第5回山北町総合計画審議会 議事録

日時 平成 31 年 2 月 14 日（月） 14:00～

場所 山北町役場 4 階 401 会議室

1. 開会

事務局 皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、審議会にご出席くださいまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、第5回山北町総合計画審議会を開会致します。

2. あいさつ

会 長 今日もお忙しい中、ありがとうございます。内容としては今日、素案が出てきておりますので、これについて皆さんと議論していきたいと思います。今日もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 素案は事前に皆様に配布させていただいた。昨日、町議会の全員協議会の席で素案の説明を行いました。議会からの意見については、何かあれば今週中にいただくようお願いしたので報告する。

事務局 議会からの意見はお聞きするが、審議会にかけるので意見がそのまま反映されるものではないと説明している。

3. 議題

後期基本計画素案について

会 長 第1章から第3章についてご意見をいただきたい。

委 員 最初に字句の訂正をお願いしたい。

p 58 現状と課題 下から2行目「や」の重複

p 65 事業名 1 障がい児者

p 66 事業名 1 障害福祉計画 ⇒ これは OK

p 88 現状と課題 下から4行目「有害虫も」を「有害虫が」

p 92 現状と課題 下から3行目「おりますが」を「いますが」

委 員 観光協会長が 14:30 で離席されるので先にやってもらったほうがよい。

委 員 例えば河村城址、10 年で終える予定だったが、もっと短くできるものはやらなければならない。

p 3 町民と町長の地域座談会、これは提案型になっていない。町民と町の一体感がなく実態と文言がマッチしていない。空き店舗の活用もできていない。よく考えてほしい。

p 6 SKY 交流圏はどう取り組むかが大事になる。

p 14 出生率の低下、人口減少に歯止めをかけるには、町民が希望を持ってないといけない。

p 15 やまきた定住協力隊、1 年にどのくらい活動しているか。その辺も考えないといけない。

宅建業者との連携による新たな賃貸住宅制度の検討、これはいいこと。ただし、業者のやる気も考えないといけない。これから実施計画に入っていく中で、しっかり考えたほうがいい。

事務局 今の委員の意見は、「計画の内容は問題ないが、実際の取り組み方が問題であることが多いとの指摘であると理解する。後期基本計画に取り組む体制をしっかりと作っていく。

委 員 1 年～3 年でできることもあるはず。

事務局 そういう体制にしていく。

委 員 自治基本条例に基づくまちづくりは大変なこと。有識者会議もやらないし、座談会はテーマが絞られてしまう。

事務局 書いたからにはしっかりやれという激励と理解した。

委 員 実施に向けて考えたほうがいいということ。

事務局 進める体制の話と受け止めた。

会 長 県の取り組みである末病なども、町として書けるものは書いたほうがよい。

事務局 「促進」は町が主体ではなく促していくもの、「推進」は町が主体となっていくもの、「進めます」は誰でもみんなが進める、といった意味合いで使い分けている。

委 員 促していくものは促進という理解でよい。

事務局 p 33 河村城址、p 99 つぶらの公園などは、促進を使っている。

委 員 審議会は今日で終わりか。

事務局 次回は2/26（火）14:00 からを予定している。

事務局 今日意見をいただいて、議会からの意見も踏まえて庁内で検討し、次回お示しする予定。

事務局 2週間後の会議になる。事前に資料はお配りする予定。

委 員 全体的にこれだけでできているし、よいと思って見ている。

事務局 色々な主体がリンクしてやっていくことをご理解いただけるとよい。

委 員 完成していないものでも、継続してやっていってほしい。

委 員 読むことで精いっぱいだった。

委 員 p 6 現状と課題 1つ目と2つ目が前回から入れ替わったが、順番を元に戻したほうがよい。

p 7 施策と事業3 3つ目 交通基盤整備が交流の促進になるか。p 107 にもあるのでハードはそちらに持っていき、こちらは「隣接市町村との交流を推進します。」というようなソフト的な表現にしてはどうか。

事務局 整理する。

委 員 p 8 現状と課題 下から3つ目 市町合併の可能性を本当に検討するのか。確認したほうがよい。

事務局 小田原と南足柄の合併の話は頓挫したばかり。柔らかめの表現を検討したい。

事務局 広域連携とするか検討したい。

委 員 p 9 施策と事業 1つ目と下から2つ目がほぼ同じ。下のほうをやめてはどうか。事業名3 斎場は2019年で終わるのか。

事務局 2019年7月に決まる。

委 員 p 13 施策と事業5 一番下「研究・活用」で終わってしまっているので、他の表現と合わせるように。

p 15 「特定空家等対策の推進」という事業が消えたのには理由があるか。

事務局 p 15 は定住の関係のため、p 89 へ記載を移動した。

委 員 p 21 施策と事業1 1つ目「施設整備」が重複しているので修正を。一番下のものとあわせて、「～計画を策定するとともに、少子化に伴う教育環境のあり方～」としてはどうか。

委員 教育環境は、学校の廃校も含めたもので主旨が異なる。

委員 理解した。

p 51 事業名 1 現在の地域福祉計画はどうなっているか。

委員 現在策定中。5年後の見直しがあると読み取ってほしい。

委員 見直しでなく策定でよいか。

委員 よい。

委員 p 62 施策と事業 2 1つ目「資質の向上」という言葉に違和感がある。「認定の平準化と適正化の取り組みを推進します。」としてはどうか。事業名も「認定調査員による認定の平準化と適正化の推進」としてはどうか。

事業名 2 包括ケア会議と p 59 施策と事業 2 事業名 1 ケア会議は同じものなら再掲にしてはどうか。

委員 検討する。

委員 p 65 施策と事業 2 一番下「高齢者も含め」とあるが、障がい者福祉のところだけでなく高齢者福祉の充実に入れてはどうか。

事業名 3 成年後見センターは前倒しでできるよう検討してはどうか。

委員 全体の方向性はこれでよいと思う。

方向性を示した計画があって、地域福祉計画がある。実践的な地域福祉活動計画と有機的につながっていることがよくわかった。1章のところが一番難しいと感じた。

委員 気になるのは外国籍の人の状況やその子どもたちの人権。

会長 事務局で検討してほしい。

委員 p 20 現状と課題 下から3つ目「多様化する～」とあるが、虐待が問題になっている。p 54、57 に言葉は出てくる。町内でも一時保護の例が出てきており、小・中の部分にも虐待という言葉があったほうがよいのではないか。そのため、「～不登校やいじめ、虐待などの子どもの悩みや～」としてはどうか。

p 25 施策と事業 1つ目 山北高はスポーツリーダーコースがある。幼稚園、保育園、文化イベントなどで協力してもらってきたが、スポーツリーダーコースがなくなる。県から地域との交流をさらに進める学校として指定を受ける。授業の中で山北町、防災、未病などを学び発表する、そうした協定を2/12に結んだ。この1つ目のところに「学びと地域振興を促進します」と入れてほしい。

p 23 施策と事業 3 下から 2 つ目 小・中は学校評議員制度でやってきたが、「コミュニティスクールを推進し、ボランティア～」としてほしい。

委員 p 24 現状と課題のところでも協定の話に触れてはどうか。

委員 整理する。

会長 p 13 指標 3 つ目 職員提案件数が 1 件の目標は少ない。業務の効率化、時間短縮のための提案が他都市では多い。効率化なども含めた提案として 10 件としてはどうか。自主財源は頑張る指標になっているので、こちらも頑張ってもらいたい。それでは、第 4 章から第 5 章についてご意見をもらいたい。

委員 p 70 「避難所の運営等、自治会と連携して」という言葉を入れてほしい。
現状と課題の下から 4 行目、「～進め、避難所の運営等自治会と連携して町民の防災意識の高揚を図りながら、～」としてはどうか。

p 77 前回防犯カメラの話があったがここに入らなかった理由は何か。

事務局 自治会の負担となるような役割はどうかと考え明記は避けた。自主防災組織＝自治会なので、そうした表記にしてはどうか。

委員 今ある自治会の役割を整理して、個人的には防災の緊急性が高いので入れてほしい。守ってもらうだけでなく自治会もやりますよと、それをやらないと町民の意識は変わらない。避難所の運営についても自治会が関わっていないといけないと考えている。

事務局 防犯カメラはそれぞれ、施設管理者が設置している。民間の店舗やマンションにもついているが自治体はそれを管理することはできない。すでに町が管理する施設には設置済みの所も多く、事業として計画には記載しない方針である。

委員 p 94 現状と課題 下から 2 行目「事業運営を検討する」、p 95 施策と事業 4 一番下「民間委託」の言葉があるが、前回安易な民間委託は否定的な意見があった。なぜ残ったのか。重く受け止めながらもということか。

事務局 ここでいう施設管理は別の内容の委託になる。そもそも規模的に山北が委託したくても受けるところはないと聞いている。

会長 事業は浄水場、施策は水道施設を民間委託となっているので混乱する。整理を。

委員 p 107 施策と事業 1 事業名 2 スマートインターチェンジは施策の 2 つ目のように整備促進ではないか。スマートインターチェンジは道路の一部なので道路の整

備促進だけでよいのではないか。

事務局 スマートインターチェンジは町が設置主体になるので「推進」になる。

委員 2020 年に完了するのか。

事務局 N E X C O 中日本の公式な見解では終わることになっている。

委員 p 110 指標 実績と年度が「－」になっている。ないなら 0 に。

事務局 やってはいるが把握できていない。検討する。

委員 p 114 町はオリーブ、JA はレモンに力を入れている。連携できているかという話があったが。

事務局 担当課によると JA とは調整をしたが、JA にオリーブの販路がなく技術指導等もできないとのことだった。山北がレモンの適地であるかもわからないとのことであった。

委員 p 115 現状と課題 下から 2 つ目 税の徴収がないのに譲与税が開始されるとある。「先行して国費による充当が開始される」などとしてはどうか。

委員 林道の路網密度は山北が県内で一番低い。補助金をたくさんもらえるのではないかとどこかに位置付けてほしい。

事務局 山北一山中湖線は台風の影響があった。昨年度工事をして林道としては使えるようになったとのこと。

委員 あそこは広域のハイキングとかロケーションのよいところ。

委員 世附のゲートはなぜ通さないのか。

事務局 通れるようになっているとのこと。車両の一般開放はしていない。東京神奈川森林管理署が管理者として一般車両の通行を禁止している。

委員 p 109 施策と事業 3 酒匂川左岸道路は議会答弁で、できないことになったと聞いたが違うのか。

事務局 松田町の部分が難しい状況で、議会ではそうした説明をした。山北町の部分は順次工事を進めており、その部分を記載している。

委員 （酒匂川左岸道路を含む）という記述があるから混乱するのではないかと。

事務局 整理する。

委員 2022 年にできるということか。

事務局 町内区域はできる。

委員 p 109 施策と事業 1 一番下 町道への移管を促進するのか。

事務局 町が必要と認めたものについてはそうする。

委員 橋りょうの補修もできない状態なのに、またお金がかかってしまう。

事務局 ネクスコ中日本と話しあって、移管する路線とそうでないところの区別はしっかりと
してある。

委員 総合計画は上位計画なので、それぞれの実施計画でやってくればよい。

委員 p 129 施策と事業 2 商店は担い手がおらず、事業承継が書かれていない。5
年後の次の計画からでは遅い。空き家対策より先にやるべきことなので入れておい
てほしい。

事務局 現状と課題部分に記載できるか調整する。

委員 いかにかこれから実施できるかになる。オリーブは町がどう支援するのか。

事務局 町としてオリーブ協議会に参加し、加工場や販路の確保などの支援している。

委員 p 115 現状と課題 上から4つ目「虫害材や曲がり材～」はできるのか、5つ
目「～地域振興を町民とともに～」は、行政はどう活動しているのか。

委員 森林組合で取り組んでいる。土場を新設し、林産物として丹沢マイタケも栽培する。

委員 行政は関与しているか。連携していないのではないか。

事務局 森林組合と連携している。

委員 p 116 施策と事業 3 水源の森林づくり事業、県はいつまでやるのか。予算はど
うなっているのか。

委員 行政センターの予算のほとんどを山北町に交付している。

委員 そうであれば林道もできていないとおかしい。

委員 スコリアの地質や急峻な地形で、作ると道路が崩れる状況にある。

事務局 以前と違い、制度として県営林道は完成後町が引き取り、維持管理することが義
務になったこともあり、簡単には林道整備の要望を出せない状況になっている。

事務局 小田原－甲府線、山北と道志を結ぶ道路を研究した経緯がある。道志村と検
討していく。

委員 幹線道路は静岡県と山梨県が動かないとダメ。

事務局 無理だから言葉を抜くということとはできない。答申の中で体制をきちんとするよう
に示していきたい。

委員 p 119 指標 乳牛・肥育牛飼養頭数は 130 頭から 150 頭になっているが、今

増えているのか。できるならいいができないなら数値を変えたほうがいい。町がやるわけではないので町がどう連携するかが大事。

p 123 施策と事業 3 洒水の滝遊歩道、河村城址は早い完成を。観光資源が活かしてこない。

p 129 施策と事業 2 1つ目「山北町商工会と連携し～」は何をやるのか。

事務局 研修や経営診断等、個店の経営の安定を支援している。

委員 p 132 施策と事業 2 事業名 1 「跡地利用の調査・研究」ではなく、平地化計画の推進ではないのか。

事務局 書き方を検討する。

委員 p 133 指標 退職共済制度加入事業所数、は 20 社から 22 社と 2 つしか増やせないのか。

事務局 難しいと考えているが、2 件の増加も簡単ではないと聞いている。

委員 町内事業者で青色申告会や小田原商工会議所等町外で手続きをしているところもあるので、指標は山北町商工会で手続きしたものになっていると思う。

委員 p 107 施策と事業 1 2つ目 スマートインターチェンジは、「促進」でなく「推進」に。

事務局 今回の意見、議会の意見を踏まえて、次回修正案を検討していただく。

4. その他

次回は 2 月 26 日（火）14:00～

委員 答申案、議会の意見はどうなるのか。

事務局 議会の意見は明日までに提出、今回の審議会の意見とあわせて 2 / 20 に庁内会議を行い、修正したものを 2 / 26 の審議会にお諮りする。

事務局 答申案には、もっとしっかり推進体制を構築するようにと入れるようにしたい。

委員 議会にはいつ説明したのか。

事務局 2 / 8 に資料を事前配布し、昨日全員協議会で説明を行った。

会長 次回は 2 週間後になりますが、次回は修正案と答申案になりますので、よろしくお願いします。

以上